# 建設業の“強み”伝える

## 函館高専 学生インタビューに協力

## 函館建青会12社が回答

【函館発】函館建青会（渡辺一史会長）は昨年に引き続き、ことしも函館工業高等専門学校の建設企業インタビューに協力している。会員企業十二社が学生の取材に協力。二十日に行われた渡辺建設㈱（函館）に対するインタビューでは、渡辺一史専務が質問に回答していく中で、学生たちに建設業の魅力を伝えていた。

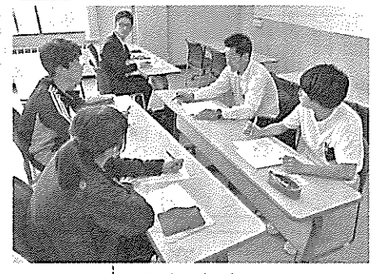
高専では、十年以上にわたって、授業の一環として教授らを対象にした校内インタビューを実施。コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を高めるのがねらいで、取材内容をまとめてプレゼン発表を行っている。

昨年度は初めて民間企業を対象としたインタビューを企画。社会基盤工学科の平沢秀之教授が、現場見学会を通してつながりを深めた函館建青会に協力を打診し、建青会も自分たちのことを知ってもらう絶好の機会と快諾した。

インタビューは、六月中旬から下旬にかけて、社会基盤工学科二年生三十六人が、三人一組で十二班に分かれて実施。創業時期や資本金、社員数といった会社概要のほか、新入社員の採用基準、建設業を目指したきっかけ、学生たちへのメッセージなどについて取材する。

二十日に同校で行われた渡辺建設へのインタビューでは、建青会の会長を務める渡辺専務が対応。学生たちの質問に真摯に耳を傾けながら、一つ一つ丁寧に回答していた。

渡辺専務は、東日本大震災のときに復興のため現地に行った経験を話し、「どんなにすごい災害が起きても元に戻すことができる」と建設業にしかない“強み”を説明。災害の復旧・復興など建設業はなくてはならない存在とし「少しでも多くの人にこの仕事を経験してもらいたい」と話した。また、学生たちに「働きたいと思う会社は」と逆質問するなど、取材の中で学生たちとの交流も深めていた。



取材を通して学生たちとの交流も深めた

インタビューした学生たちは、「実際に働いている人の話を聞け、自身の将来の仕事について真剣に考えるきっかけになった」「つぎは現場を見てみたい」などと建設業への関心を深めていた。

# 災害防止策を“愚直”に

## 大林組札幌支店の労災防止大会

## 300人が重大災害絶滅誓う

矢野支店長は自ら現場を回り対話する姿勢を示した

㈱大林組札幌支店（矢野長）との共催。休業一日以上を指す「重大な災害の絶滅」の達成に向けて決意を新たにした。

大会には同社役職員をはじめ支部会員ら約三百人が参加した。

冒頭、あいさつに立った矢野支店長は「私自身も各現場を回り、直接対話に努めたい」と開口一番。現場の最高責任者となる所長に向けて「絶対に災害を起こさないという強い信念をもち、自ら率先して災害防止策を愚直に実行して」と呼びかけるとともに、支部会員らに「所長の強い意志を共有する」ことの重要性を説いた。

災防協札幌支部の鈴久名会長は「目標とする重大な災害の絶滅はもとより、不休災害も発生させない」と決意を示し、会員各社の一層の協力を求めた。

このあと、札幌中央労基署から富塚豊安全衛生課長を講師に招き、安全講話に耳を傾けたほか、同支店の和田義弘安全部長が安全衛生対策要項について説明。竣工工事安全表彰など各種表彰や、参加者代表による安全宣言を行い、目標の達成に向けて全社が一丸で取り組む姿勢を再確認した。

止協会札幌支部（鈴久名健会

# 新太平洋建設が安全パトロール

## 女性の視点で快適職場に

## 各現場を女性職員3人が巡回

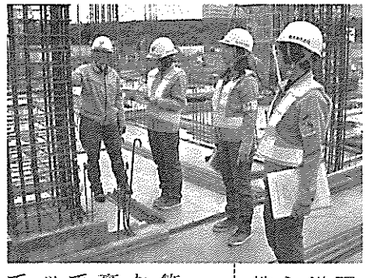
新太平洋建設㈱（札幌、飛田周二社長）は二十一～二十二日と二十五日の三日間、女性社員による安全パトロールを実施している。女性の視点で現場をみることで、普段は気づきにくい点を指摘してもらい、より良い環境へと改善することが目的。初日は、女性職員三人が同社の施工する建築一現場、土木二現場を訪れ、現場環境等を隅々までチェックした。

女性職員によるパトロールは、昨年秋に続き二回目となり、今回は初めて建築三現場を組み込んだ。パトロールに参加したのは、管理部の三好享子さん、今野恵さんと、土木部副部長の菊川栄子さん。本間一朗土木部長とともに、三日間で計八現場を回る。

最初に訪れた市内厚別区の子育て支援センターの現場では、村井秀明所長から工事概要説明を受けたあと、現場事務所や現場内を点検。施工現場には、新入社員の鎌田利菜さんが配属されており、女性が働く環境として困っている点はないかなどを聞き取った。

同現場の講評では「整理整頓が行き届き、トイレや水回りもきれいだった」ため の箱を設置してはどうか」「降雨の影響で喫煙所の灰皿がいっぱいになっていたのが気になった」などの指摘もあった。

パトロール後は、各現場に「新太平洋けんせつ小町パトロール点検済み」のステッカーを配布。ステッカーは現場の看板などに貼られる。



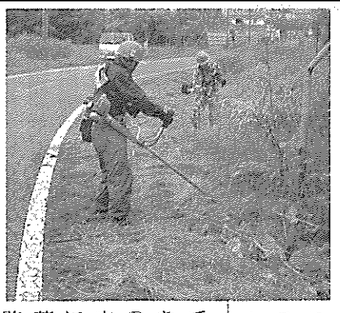
現場の女性職員鎌田さん（左）から説明を受ける女性社員

「現場の入口に花が飾ってあったのが良かった」と全体的に高評価だった。一方で「会社でエコキャップを集めているので、現場でも集めるの

# 各企業等の社会貢献

## 快適な道路環境を創出

## 和秀が草刈りボランティア



路肩から伸びる雑草を丁寧に刈り取った

【留萌発】㈱和秀（留萌、居原田隆夫社長）は十八日、留萌市内の市道千望通りでボランティア活動として、草刈の作業を行った。地域の景観向上に役立てばと、沿道に生い茂った雑草類を一掃。道路環境整備に貢献した。

千望通りは、留萌市における観光地の一つとなっている留萌千望台へと通じる市道。同社は本年度、留萌市の「潮静2号枝線布設」を受注しており、市役所に地域貢献活動を打診したところ、路肩等に伸びた草刈りの依頼を受け、これを快諾した。

この日の作業には同社職員ら四人が参加し、路肩から道路内に伸びる雑草を刈り取って一掃。留萌を訪れる観光客らが少しでも気持ちよく観光を楽しめるよう、周辺環境を整えた。

居原田社長は、観光シーズンが本格化するに当たり「留萌にいいイメージをもってもらえるよう、地域のお役に立てれば」と話していた。

# 一般競争入札公告

### ◎釧路開建

☆申請期間＝7月5日まで
☆開札日＝9月4日
【44号釧路町雪裡橋仮橋設置】
▼工事概要
▽工事場所＝釧路町
▽工事内容＝二六〇㍍仮設KA1（支持杭一五本、橋台二㍑）、仮設KP1（支持杭三二本、橋脚三二㍑）、仮橋上部
▽工期＝31年3月25日まで
▽施行計画重視型
▽見積徴収方式
▽受注者希望型・週休二日
▼入札参加要件
▽一般土木A・Bの単体、Aの経常JV。Bは一般土木の技術評価点数八五〇点以上または維持の技術評価点数八〇〇点以上。単体とJV構成員のうち一社以上は道内業者
▽元請実績＝十五年度以降道路法上の道路（未供用区間含む）における土留・仮締切工（仮橋・仮桟橋含む）

### ◎網走開建

■委託■

☆申請期間＝7月2日まで
☆改札日＝8月1日
【39号北見市北見本町現況調査】
▼業務概要
▽業務内容＝騒音・振動調査、地盤変動影響調査家屋調査
▽履行期限＝31年3月19日
▼入札参加要件
▽補償関係コンサル
▽元請実績＝二十年度以降、同種業務

### ◎室蘭建管

☆申請期間＝7月2日まで
☆開札日＝7月17日
【富岸海岸特対局改】
▼工事概要
▽工事場所＝登別市
▽工事内容＝土留四六㍍
▽工期＝10月10日まで
▼入札参加要件
▽一般土木A2の単体、経常JV。すべて胆振・日高管内に主たる営業所
▽元請実績＝十五年度以降、船舶を使用しない海岸、漁港または港湾における護岸（防波堤、消波堤等含む）

### ◎旭川市水道局

☆開札日＝7月3日
【豊岡6条3丁目配水本管布設】〈事後審査〉
▼入札参加要件
▽水道施設の単体。市内業者
▼設計金額＝二、四四〇、〇〇〇円（税抜）
☆開札日＝7月10日
【神楽岡地区量水器設置】〈事後審査〉
▼入札参加要件
▽管Aの単体。市内業者
▼設計金額＝一四、七一〇、〇〇〇円（税抜）
【緑が丘地区準幹線その2下水道更新】
▼入札参加要件
▽土木A（特Aを除く）の単体。市内業者
▼設計金額＝三八、四〇〇、〇〇〇円（税抜）

# 公募型入札公告

### □網走開建

■委託■

☆申請期間＝7月2日
【興部道路事務所管内道路交通安全対策設計】〈簡易公募型プロポーザル〉
▼業務概要
▽業務内容＝道路予備設計三・一㌔㍍
▽履行期限＝31年3月25日
▼入札参加要件
▽土木関係コンサル
☆開札日＝8月29日
【ウトロ漁港地質調査】〈簡易公募型〉
▼業務概要
▽業務内容＝ボーリング、標準貫入試験、PS検層、土質試験、液状化判定
▽履行期限＝31年1月18日
▽履行体制確認型
▼入札参加要件
▽地質調査
【333号遠軽町生田原道路電気ほか設計】〈簡易公募型〉
▼業務概要
▽業務内容＝遠軽北見道路生田原道路安国～旭峠間電気通信設備設計および修正設計、333号旭野トンネル防災設備更新設計、旭川紋別道丸瀬布遠軽道路遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC間電気通信設備修正設計
▽履行期限＝31年3月15日
▼入札参加要件
▽土木関係コンサル